

令和6年1月9日

3学期始業式あいさつ

- みなさん、おはようございます。そして新年おめでとうございます。校長の都丸です。
- 冬季休業期間は、どのように過ごしたのでしょうか。年末は帰省する方々で駅や空港、道路など混雑していたようです。
- そうした中で、元日から能登半島地震の発生によって、新年の喜びや楽しさが一転し、とても不安な気持ちになりました。みなさんは、どんな気持ちでしたか。
- 私は、とても不安になっていました。とくに大津波の警報が出た時は、東日本大震災の時を思い出していました。みなさんはまだ幼かったため、あまり記憶にはないのでしょうか。
- 神奈川でも大きな被害がありました。電車・バスなどの交通機関は止まってしまい、職場から何時間もかけて歩いて帰りました。当時は携帯電話でしたが、中々つながらなかったので、情報が何も入ってこなかったのが不安でしたが、何となく、自分は大丈夫ではないかという楽観的な気持ちもあったような気がします。
- 今考えるとそうした状態は「正常性バイアス」だったのだらうと思います。「正常性バイアス」とは、「自分は大丈夫」「たいしたことはないだらう」という心理状態で、そのために迅速な行動がとれない場合があるということです。実際に災害があった際には、呆然としてしまう人や、パニックになる人がほとんどで、そうした中、「正常性バイアス」の心理状態に陥り、災害を避けられないこともあるようです。
- 実際に、東日本大震災では、そうした状況が多く、甚大な被害につながったことが明らかになっています。
- 今回の災害で、予定外、想定外のことが起こった時でも呆然としたり、パニックになったり、「正常性バイアス」の心理状態に陥らないよう事前準備や時間に余裕を持った行動を心がけていきたいと、改めて思いました。
- みなさんも事前準備や余裕を持った行動がとれるよう心がけてください。
- 話は変わりますが、終業式でもお話したとおり、今年は、甲辰（きのえたつ）、成功が実るために芽吹く年です。よりよい一年のスタートダッシュができるよう余裕を持った行動を心がけましょう。
- そして、霧が丘高校のキャッチフレーズは、challenge～未来を切り拓け～です。今年一年も様々なことにチャレンジしてもらいたいと思います。
- それでは、今年もみなさんにとって、素晴らしい一年になるようがんばっていきましょう。